

智頭病院だより

看護の日について

5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に



皆さんは、「看護の日」という記念日をご存知でしょうか。看護する心や、助け合う心を育む大切さを広く知っていただくため、1990年に厚生省（現…厚生労働省）によって制定されました。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、5月12日に設けられ、この日を含む日曜日から土曜日までの7日間を「看護週間」として、全国各地の医療機関などで多彩なイベントが開催されています。日本看護協会が掲げる2024年のテーマは、「さあ、看護の未来を見つけないこう!」です。少子高齢化と人口減少が加速する社会で、地域住民の皆さんのニーズに 대응べく、医療や介護の場で活躍している看護職について関心を持っていただくことも大きな目的です。

■智頭病院「看護フェア」

智頭病院では、毎年「看護フェア」としてイベントを開催しており、参加者に記念品としてささやかなプレゼントをお渡ししています。今年は5月16日、保健医療福祉総合センター「ほのぼの」のそよかぜ通りで開催しました。

身長体重測定、前屈・片足立ち・握力測定、さらに認知症予測テストなどを行い、受診のために来院された人を中心に、約80人に参加していただきました。参加者より、「普段していないことができました。」「看護師の対応がよかったです。」「プレゼントが

あってよかったです。」などの、意見や感想をいただき、担当した看護師にとって、住民の皆さんとふれ合う貴重な機会となりました。

智頭病院は、地域に貢献し、住民の皆さんに信頼される病院であるために、職員一丸となって日々奮闘しています。医療・介護の仕事に興味がありましたら、院内見学もしていますので、気軽に連絡ください。そして、将来ともに働く仲間としてお会いできることを願っています。

「看護の日」キャラクター

かんごちゃん



鳥取県かんごちゃん

